

被災体験者に聞いたあってよかった!

災害が新たに発生するたび、「防災準備をしておけばよかった」という声が聞かれます。実際に被災した人たちはどんなものが必須アイテムだと考え、準備しているのでしょうか。平成30年7月豪雨で実際に被災した弊社社員や、地域防災の意見交換会で集めた情報を紹介します。

あって
よかった!



本カタログ内の「あってよかった」対象商品には、左のマークをつけて、わかりやすくしています。備蓄品選定の際には、体験者の意見もぜひ参考にしてください。

片づけの際、使い捨て手袋ではすぐに破れ、グリップ力がなくすべって使いにくかった。



作業手袋 6ページに掲載

被災した際に一番必要なものは次どうすべきかを判断する情報。そのため携帯電話の電源は常に確保しておきたい。



モバイルバッテリー 10ページに掲載

携帯電話で自分から取りに行く情報だけでは届りがでる。ラジオから流れるニュースで施設開放を知って利用した。



ポケットラジオ 10ページに掲載

仮設トイレ設置箇所まで徒歩30分かけて一日何回も通うのは大変だった。



簡易ポータブルトイレ 10ページに掲載

車中泊では、隣の車が近く視線が気になった。



車用マグネットカーテン 12ページに掲載

被災していない何十キロ先のガソリンスタンドまで、毎日通うのはしんどかった。



ガソリン携行缶 12ページに掲載

炎天下作業時の飲料だけでなく、体を冷やすため保冷剤を保管でき活躍した。



クーラーBOX 12ページに掲載

携帯のライトをたよりに避難したが、すぐにバッテリーが無くなり、その後困ることになった。



強カライト 13ページに掲載

避難先で暗闇の中、荷物を運搬する際に両手が自由に使えなくて困った。



LEDヘッドライト 13ページに掲載

隣家の妊婦さんは暗闇の中、助けを求め何時間も叫んだが、近所では誰も気付かなかった。ホイッスルがあれば聞こえたかも知れない。



ホイッスル 13ページに掲載

避難生活において貴重な飲み水を歯磨きには使いにくかった。



洗口液 14ページに掲載

貴重な水を使って、手を洗ったりテーブルを拭いたりはしにくかった。



ウェットティッシュ 14ページに掲載

水とおにぎりを買うため何時間もかけて歩いた。



水・食品全般 16ページに掲載

とにかく万能。壊す、ひっかける、移動させるがスムーズにできた。



ポール 23ページに掲載

大型の廃材を分解できず作業が遅れた。片づけ作業には必需品だと思う。



折りたたみノコ 23ページに掲載

ちりとりと比較して一度にすくえる量が多く、作業効率が良かった。



てみ 23ページに掲載

小学生の娘が片づけの際に一番使った道具。軽量廃材運搬に最適。



一輪車 浅型 23ページに掲載

大量の廃材を運搬するには浅型では効率が悪かった。



一輪車 深型 23ページに掲載

重い瓦礫や土砂を土のう袋に入れるのは、スコップが思うようにコントロールできず時間がかかった。



土のう用充填スタンド 25ページに掲載

庭や道路の汚泥を取り除くのに水切りワイパーではすぐ破損し使えない。農家さんにお借りして使ったが大活躍した。



アルミ代かき 25ページに掲載

泥や土砂の洗い流しに活躍。人力での作業の負担軽減に。



高圧洗浄機 25ページに掲載

水害復旧作業時は腰を下ろして休憩する場所がなく、しんどかった。



会議椅子 28ページに掲載

避難所では明かりと雑音が気になって中々寝付けなかった。



アイマスク・耳栓 29ページに掲載

電気復旧までは相当な日数が必要だったため、高圧洗浄機等の大型な道具を使用するのに役だった。



インバーター発電機 29ページに掲載

携帯の充電に使用。避難所生活中に誰かのを抜くわけにもいかず困った。



コード付きタップ 29ページに掲載

被災した際に最も使った物。洗わなくて良い、軽量、場所取らない。



紙コップ 29ページに掲載

避難所内ではもちろんだが、屋外にも設置してくれていて、炊き出しの際にも重宝されていた。



ブルーバーナー 30ページに掲載

真夏の被災であったため、避難所では一家族に1台用意していただき、大変ありがたかった。



リビング扇風機 30ページに掲載